

月刊 ゆがの通信

2025年2月号

発行：ゆがの薬局

冬の突然死を防ぐには予兆を知ることが大事 「丹参製剤」で血管・血液のケアを

冬は特に突然死に注意を

昨年末ですがテレビ等でも活躍されていたタレントのお二方が突然お亡くなりになりました。お一方は歌手の方でお風呂場で亡くなっているのが発見され、温度差が原因で血圧に異常を生じ心筋梗塞や脳梗塞を引き起こすヒートショックが原因ではないかと言われました。もうお一方は俳優の方で虚血性心疾患が原因と言われています。

心疾患の一番の原因は動脈硬化であると考えられます。加齢により動脈が硬くなり、生活習慣病によりコレステロールが血管内で固まるプラークとなり、これらが詰まったり破裂することによって心筋梗塞や狭心症が発症します。

さらに冬の寒さは血管を収縮させ、血圧を上昇させます。これにより心臓への負担も増えるので心疾患のリスクが大幅に増えてしまうのです。



予兆を知って早めに備える

心疾患の初期症状としてはまず胸痛みや違和感があげられます。他にも

動悸や息切れ、めまいなどがありますがこれらの心疾患の典型的な痛みほかに「放散痛（ほうさんつう）」といわれる一連の予兆があります。これは胸の痛みとは別に肩や腕、背中、あご、歯、みぞおちなどに痛みが出ることがあります。体の上半身に、さらに左側に多いことが特徴的です。特に左肩や左腕へと向かう神経が心臓近くに集まっているため心臓からの刺激が伝わりやすく、この部位の痛みは心疾患の予兆として見逃すことができません。

一方で動脈硬化を原因としない狭心症もあります。冠動脈が何らかの原因で異常に収縮する冠れん縮性狭心症と冠動脈から枝分かれした微小な血管（毛細血管）の内腔が狭くなり血流が悪くなる微小血管狭心症です。動脈硬化が原因でなくとも最近の研究でこれらの狭心症も心筋梗塞の要因になることが解明されています。

血管・血液のケアに丹参製剤を

心疾患による冬の突然死を予防するにはやはり血管のしなやかさを保ち、血液が滞りなくなれるようにするケアが重要です。このために当店では丹参製剤（たんじんせいさい）をおすすめしています。

丹参（たんじん）とは中国産サルビアの根茎から抽出される生薬で、血管を拡張し血流を増やす、血液の粘度を下げる、血管をしなやかに保つなどに加え、コレステロールを減らしてプラークを作りにくくする、赤血球に弾力を持たせ毛細血管内を自由に行き来できるようにする効果もあります。つまり先ほどの微小血管の血液循環を活性化させます。

予兆が起きる前からの備えとしても予兆が起きてからの対策としても丹参製剤は血管・血液ケアの解決策となります。ぜひ一度ご相談ください。

イスクラ産業株式会社

丹参製剤「冠元顆粒」

（第二類医薬品）

二十一包入り（十日分）

三、三〇〇円＋税

四十五包入り（二十二日分）

七、二〇〇円＋税

九十包入り（四十五日分）



(C)イスクラ産業株式会社

「丹参製剤」についてのご相談は店頭だけでなくお電話でも受け付けています。お気軽にご相談ください。

「実は多くの方が悩んでる尿漏れ」

漢方のチカウで根本から改善！

星火安固丹（セイカアソコタン）でお悩みを解消！ 健康な毎日を送りましょう



(C)イスクラ産業株式会社

1ヶ月分 7000円（税別）

ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>